



Tsumugi@は、日本工営株式会社がつくば市、法政大学の川久保俊教授の協力のもと開発した地方自治体によるSDGsの取り組み状況を簡単に診断できるオンラインアプリケーションツールです。Web上で設問に回答いただくことで、自治体のSDGs推進に向けた取り組み状況・体制の達成度を診断し、チャートやスコアで結果を可視化します。診断の中立性・透明性を担保するため、設問は川久保教授のご監修のもと、検討を重ねております。

診断ツールTsumugi@とは

自治体の取り組み・事業のSDGs軸での診断

内閣府が開発している「地方創生SDGsローカル指標リスト」はSDGsの232のインディケータの日本の自治体レベルのいわゆるアウトカム指標であるのに対し、本ツールでは自治体の事業や取り組み自体に焦点をあてた「プロセス評価」を採用した診断ツールです。

2つの切り口からのセルフアセスメント

①自治体がSDGs推進に取り組むための実施体制の確立状況（フレームワーク診断）と、②自治体の施策・事務事業の取組が17のゴールにどのように貢献しているか（アクションフェーズチェック）、各担当部署がWEB上の設問に回答することで、簡単に取り組み状況を診断できます。

SDGs取り組み状況の可視化

診断の結果を踏まえ、自治体のSDGs達成に向けた取り組み状況をチャートやスコアにより可視化します。それにより、自治体の強みや課題が把握できます。また、市報やHPといった情報発信媒体などでも、市民・事業者向けの説明にご活用頂けます。

Tsumugi@導入のメリット

▼簡易な操作で短時間診断！（人手・時間のコスト削減）

SDGsの取り組み状況を評価するには、項目が多めで時間と労力を要しますが、『Tsumugi@』ではWEBサイト上の設問に対する選択式の回答を選ぶだけで簡単に取り組み状況を診断できます。

▼各担当部署の取り組みを一元管理、経年変化もモニタリング可能

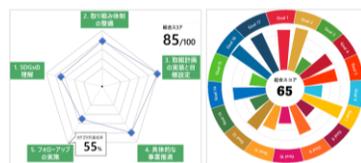
総合評価に加えて、ゴール別や担当部署別にSDGs達成に向けた取り組み状況を一元管理、また経年的な変化も合わせて把握することができます。様々な切り口から強みや課題が見える化し、事業の方向性の見直し・立案に活用が可能です。

▼分かりやすいチャートで取り組み状況を可視化

自治体のSDGs取り組み状況を分かりやすいチャートで可視化でき、市民・事業者の皆様への情報発信、理解促進にもご活用いただけます。



アクションフェーズチェックにおける各種スコア
(上：ゴール別、下：庁内比較)



自治体全体としての総合スコア
(左：フレームワーク診断、右：アクションフェーズチェック)

Tsumugi@を活用してみませんか？

SDGsへのお取り組み状況やご希望を踏まえて、Tsumugi@の活用をご提案させていただきます。SDGs達成に向けて“行動の10年”にある今、今後全国の自治体でTsumugi@をご活用いただき、SDGs推進に向けた取り組みを加速化することを目指します。

お問い合わせ先

日本工営株式会社 環境技術部
サステナビリティ戦略ユニット
Tsumugi@事務局 菊池／櫻井／幾瀬
TEL: 03-5276-3930
Email: nk-sdgslocal-info@n-koei.co.jp
会社HP: <https://www.n-koei.co.jp/>



日本工営株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：新屋浩明）は、国内最大の建設コンサルタント会社として、安全・安心な生活、豊かな日常を支える社会資本づくりに関わるコンサルティング事業やエネルギー事業をグローバルに展開しています。

